

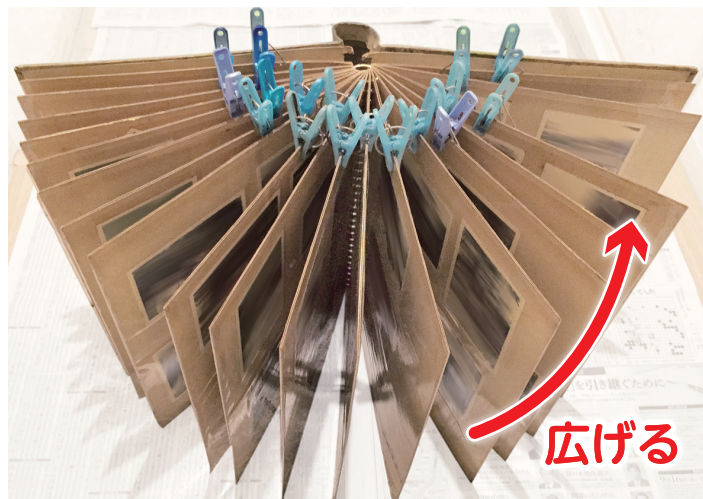
水に濡れた写真でも、捨てないでください

水に濡れた写真の応急処置

濡れた写真やフィルムをそのままにしておくと、表面にバクテリアやカビが繁殖し、時間が経つにつれ画像が失われていきます。劣化を少しでも抑えるためのポイントはできるだけ陰干しで**早く乾燥させ** 可能なら **泥を払う** ことです

できるだけ早く **乾かす**

写真アルバム 広げて 重ねた写真 1枚ずつに



アルバムは、乾燥しやすいように広げておきましょう

写真同士がくっついてはがれなくなることがあるので、濡れているうちに1枚ずつはがして乾かしましょう。

※ 床に広げて乾かす・洗濯バサミで吊るして乾かすなど



台紙付写真 台紙を広げて

そのまま乾燥すると台紙と写真、薄紙がくっついてしまうので、台紙から写真を広げて乾かしましょう。



袋に入れっぱなし NG

土嚢袋やビニール袋に入れたままだと蒸れた状態が続き、画像の劣化が進みます。一刻も早く袋から出して乾燥させてください。

額入り写真 額から出す

写真がガラスにくっついたまま乾燥するとはがれなくなることもあるので、早急に額から出して乾かしましょう。

※ ガラスに貼り付いてしまった際は無理に剥がさないほうが良い場合もあります

その後、余裕ができたなら

洗浄か拭き



しっかり乾燥させていれば、画像の劣化を抑えることができます。余裕ができたなら水洗いしたり拭いたりして、写真を綺麗することもできます。

富士フィルムと共同制作した

- ◆ 銀塩プリントの構造
- ◆ 応急処置 (乾燥)
- ◆ 切り出し～洗浄・拭き 他

の動画 (基礎編) を下記 HP で公開しています。



被災写真救済ネットワーク <http://www.rescue-photo.net> info@rescue-photo.net



@rescuephotonet

事務局：(一社) 三陸アーカイブ減災センター

本書のプリント・コピー・配布・掲示は自由です。状況に合わせてご利用ください (不許改変)